



＜目指す学校＞

『未来に挑戦する日本一優しい学校』を共通目標に、学校・家庭・地域が協働することにより

＜八王子市教育委員会教育目標＞

あふれる元気・かがやく心・仲間とともに・はばたけ未来へ
「ビジョンはちおうじの教育」第二次教育振興基本計画の基本理念
誰もが生涯にわたって学び合い
自分の「みち」を自信をもってあゆむ力を育む

- ① 生きた学びを通して、主体的・協働的に「次代に挑戦できる力」を身に付ける学校
- ② 「心理的安全性」を担保し、「優しさ」や「あたたかさ」に包まれた学校
- ③ ねばり強くやりとげられる健康・体力を身に付ける学校

- ④ 縦（学びの連続性）と横（地域協働）の仕組みを最大限に活かし育成を図る学校
- ⑤ Try&Error による「よりよい学校づくり」にチームで挑戦できる学校
- ⑥ 学校を核として、子ども、教職員、保護者、地域全体が成長できる学校

＜七国小学校教育目標＞

自分を伸ばします

急速かつ劇的に変化する次代において、主体的・協働的・創造的に「よりよく課題を解決し行動、改善する資質・能力」や、多面的・多角的視点から「持続発展可能な社会づくり」に貢献する力を身に付ける。
実生活や実社会、子供たちの未来に生きる学びを推進・展開する。

- すすんで学びます
- ◎心をみがきます
- 体をきたえます

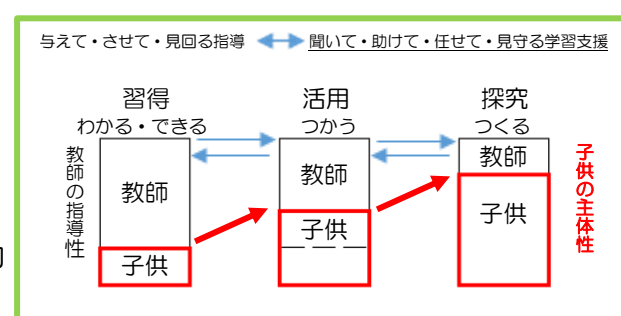
子供たちの『未来』づくりに生きる学び 「あたたかい」学校づくり

自己発揮・自己実現しながら「すすんで学ぶ子」を育成するため、 主体的・対話的な学びを重視する	主体的・対話的で深い学び 未来に生きる学び
学校生活や社会生活を創りながら「心をみがく子」を育成するため、 あいさつや交流、きまりを守ることを通して豊かな人間関係を築くことを重視する	いじめ対策 人間理解に基づく組織的支援
チャレンジの気持ちをもって「体をきたえる子」を育成するため、 めあてをもって努力し協力して解決や達成をめざす態度と心身の健康づくりを重視する	健康・安全教育、食育の充実 「体幹」を鍛える

＜学校の教育目標を達成するための中期的なチャレンジ＞

① 「主体的・対話的で深い学び」の実現

実生活・実社会上の課題と関連付けて学ぶことで、児童が主体的に概念や仕組みに気付き、実生活・実社会上の課題解決に活かす学習過程を推進する。校内研究を軸に実生活・実社会と関連付けた「主体的・対話的で深い学び」を推進する。1人1台の学習用端末等を有効活用し、授業改善を進める。「探究の時間（総合的な学習の時間）」・「生活科」を核として、児童が多様な教科・領域で身に付けた見方・考え方を存分に発揮して主体的に探究的な学びを展開し課題解決・問題解決に取り組む姿を追究する。



② 「日本一優しい学校」づくり（心理的安全性の担保・いじめの防止）

「日本一優しい学校」づくりに向け、挨拶・笑顔・協力を大切に、子供に惜しみない愛情をかけること心理的安全性を担保できるよう最善努力する。型の指導と心の耕しの両輪を図ることにより子ども達の規範意識を醸成する。児童に不安やトラブルが生じた場合は、組織力を生かして迅速・丁寧な聞き取りを行うことで心的状況を整理し、子どもの解決を包括的に支援することで子ども達の成長の機会とする。「教員が子どもと向き合う時間」「いじめ対応のための時間」を確保する。子ども・保護者が安心して相談できる体制を確保するとともに、生活調査アンケート、子ども見守りシート、Q-U調査、保護者からの連絡等で、子供や保護者の不安が生じた場合は、迅速・丁寧に聞き取りを行い組織的な解決を目指す。

③ 総合的な体力の向上と日常的な健康教育の重視

「七国小学校 体力向上ハンドブック」の作成及び全学年での活用、体育実技研修会及び中学校体育との連携を通し、体育授業の改善を図るとともに、運動の日常化を目指した「朝の体力づくり時程」、全校で縄跳び運動等、「七国小学校2020レガシー」（鉄棒）と連想した取り組みを進める。の向上に取り組む。健康な生活習慣の確立に向けた健康教育、食育等について、家庭・地域と連携した取組を重視する。避難訓練や安全指導を通し「生活安全」「交通安全」「災害安全」に関わる安全教育を徹底し、身近な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとることができるよう「型の指導」の習得とともに、「自ら考え判断・行動する力」を育成する。

④ 八王子市「GIGAスクール推進校」・東京都「デジタルを活用したこれからの学び指定校」

令和7年度八王子市「GIGAスクール推進校」、東京都「デジタルを活用したこれからの学び推進校」に着手することで、一人一台端末をはじめとしたICTを効果的に活用した授業の創造につなげるとともに、実践の成果を市内外に広く発信し、GIGAスクール構想のけん引役を担う。

⑤ 「七国地区学園都市構想」の推進、小中一貫教育、キャリア・未来デザイン教育の推進

近隣保育園・幼稚園・こども園、七国中学校、東京家政学院大学と連携高校との連携（『縦』の視点）、および七国地域の豊かな教育資源（『横』の視点）を最大限に活用した『七国地区学園都市構想』に着手する。本構想を通し、保・幼・小連携及び、七国中学校との小中一貫教育連携、東京家政学院大学との連携協定および連携協定高校との広域的連携を柱に、地域の豊かな自然・企業・教育の利点を最大限に活用した教育活動を模索・推進していく。『八王子未来デザイン2040』を活用した取組を推進し、児童が自分の良さや将来の自分、将来の七国地域について考え、多様な人々の思いを受け止め、自分たちの思いを伝える力、社会貢献にチャレンジする力を育むとともに、七国地区の活性化を図る。

学校経営の基本理念

急速かつ劇的に変化する次代において、主体的・協働的・創造的に「よりよく課題を解決し行動、改善する資質・能力」や、多面的・多角的視点から「持続発展可能な社会づくり」に貢献する力を身に付けることが学校教育の喫緊の課題である。本来学校での学びは学校教育で閉じるものではなく、実生活や実社会、子供たちの未来に生きるものでなくてはならない。

本校、家庭、地域社会が「未来への挑戦」を共通目標とし、長期的な視点で社会に開かれた教育課程を編成・実施・改善することで、知・徳・体をバランスよく育み、時代の変化に対して折れることのない「幹」の育成と、しなやかな「個性の伸長」に重点をおいた「人間教育」を推進する。

義務教育9年間で育てたい児童・生徒像

『自ら学び成長する児童・生徒』

子供が主役の学校

学校における学びの主役として、子どものTry&Errorの機会を保証することで、

- ・子ども自身が学び方を獲得し、
- ・よりよい人間関係を形成し、
- ・より良い学校づくりに参画し、
- ・自ら課題を発見・解決し
- ・自らの将来を考え決定できる児童を育成する。

人間理解に基づく組織的支援

子どもの主体的な学びの支援者として、教職員が「人間理解に基づく組織的支援」を推進するために、

- ・授業で勝負できるよう授業力を絶えず高め、
- ・一人ひとりに愛情を存分に注ぎ子どもとともに歩み、
- ・子供たちが安心して社会自立できるよう、必要な資質・経験を身に付け、
- ・目標に向かって「チーム」で協働し、
- ・教師自身が「Try&Error」を恐れず、子ども達にも「Try&Error」による学びを保障し、
- ・子どもの成長に向け保護者、地域と「協働」する

○すすんで学びます

＜自己発揮・自己実現＞

- 校内研究を軸に実生活・実社会と関連付けた「主体的・対話的で深い学び」の推進
- 個別最適な学習の推進
- 「実生活、実社会に生きる学び」の獲得
- 「探究的な学び」の推進
- 「学び合い、高め合う学習集団」づくり
- 「学び方を身に付ける」学習
- 小中9年間を見通した確かな学力の育成
- 基礎・基本的知識・技能の定着
- GIGAスクール構想の推進
- 学びにおける「Try&Error」の保障
- 全学年一部教科担任制の導入に向けた検討

◎心をみがきます

＜学校生活や社会生活を創る＞

- 人間理解に基づく組織的指導・支援の徹底
- 「いじめ防止」の徹底
- 子どもと教職員の「心理的安全性」の担保
- 人間理解に基づく組織的支援・指導の徹底
- 全教育活動を通した「心」の育成、規範意識の醸成
- 自尊感情・相手意識の向上とコミュニケーションスキルの育成
- 自らの生き方について考え行動する力
- 「子どもが主役の学校」づくり
- 心を動かす体験、豊かな感性の醸成
- いのちの大切さを共に考える

○体をきたえます

＜チャレンジ＞

- 「七国小学校 体力向上ハンドブック」の作成及び全学年での活用による体育授業
- 望ましい生活習慣の確立（健康づくり）
- 「生活安全」「交通安全」「災害安全」

★『七国地区学園都市構想』推進

★『八王子未来デザイン2040』

★保護者・地域連携型キャリア教育

★八王子市GIGAスクール推進校

東京都「デジタルを活用したこれからの学び指定校」